



平成 29 年 7 月 18 日

報道機関 各位

東北大学災害科学国際研究所

**東北大学災害科学国際研究所  
「平成 28 年度共同研究成果報告会  
兼プロジェクトエリア・ユニット報告会」  
を開催します。**

東北大学災害科学国際研究所では、他機関との「共同研究」と所内研究活動を強化する「プロジェクトエリア・ユニット制による研究」によって、自然災害科学に関する世界最先端の研究を推進しています。

このたび、昨年度に施設、研究機器、情報構築、人的体制、ネットワークの整備などの本研究所のリソースを活用した共同研究助成プロジェクトで助成した共同研究及び、昨年度より開始された新しい研究プロジェクト体制「実践研究組織（プロジェクトエリア・ユニット）」での研究について、各研究代表者が最新の成果や今後の展望をご紹介する報告会を開催いたしますのでお知らせいたします。

本報告会は、学内外・一般の方々と最新の知見を広く共有し、研究成果の社会への活用の増進、さらには研究の連携・融合を図ることを目的としており、どなたでも参加可能となっておりますので、奮ってご参加いただければ幸いです。

つきましては、本報告会を幅広くご周知いただくとともに、当日はご取材の上紙面・番組等で取り上げていただけますと幸いです。なお、当日のご取材をご希望の方は次頁問い合わせ先までご一報ください。

詳細は以下のとおりです。

記

日時:2017 年 7 月 29 日(土)9:00~17:15

会場:東北大学青葉山新キャンパス 災害科学国際研究所棟 1 階多目的ホール(別紙参照)

スケジュール:

8:30 開場

9:00- 9:10 開会の挨拶(今村 文彦 所長)

- 9:10－11:50 [共同研究:午前の部]口頭発表(進行:寺田 賢二郎 教授)  
11:50－12:20 [プロジェクトエリア]口頭発表(進行:村尾 修 教授)  
12:20－13:10 昼食  
13:10－14:00 [プロジェクトユニット]ポスターセッション・コアタイム(50分)※常設  
14:00－17:05 [共同研究:午後の部]口頭発表(進行:丸谷 浩明 教授)  
17:05－17:15 閉会の挨拶(伊藤 潔 副所長)

詳細なプログラムについては、別紙資料をご参照ください。

**【問い合わせ先】**

東北大学災害科学国際研究所

担当:中鉢奈津子・鈴木通江(広報室)

電話(広報室) 022-752-2049

E-mail(広報室) [koho-office@irides.tohoku.ac.jp](mailto:koho-office@irides.tohoku.ac.jp)

東北大学災害科学国際研究所 IRIDeS 金曜フォーラム  
平成28年度共同研究成果報告会  
兼プロジェクトエリア・ユニット報告会

災害科学国際研究所は発足以降、災害科学関連の研究領域において多様な共同研究を実施し、実践的防災学の発展につながる数多くの実績を挙げてきました。同時に、本邦の学際的な災害科学研究を推進する中核拠点となり得る施設、研究機器、情報構築、人的体制、ネットワークを整備して参りました。本邦の災害科学発展にさらなる貢献ができるよう平成30年度からの実施を目途に共同利用、共同研究拠点の申請を目指しております。その前段階として、全国関連領域の研究者に本研究所のリソースを活用した共同研究の促進を目的とした助成を行っています。

また、当研究所では、自然・社会環境、文化・歴史が異なる地域の支援ニーズや調査に迅速に適応するために、2016年4月から新たにプロジェクトエリア・ユニット制を当研究所に導入しました。

本会では、昨年度に実施された共同研究助成による研究成果とプロジェクトエリア・ユニットの活動成果について、下記の要領で報告いたします。

1. 日時

2017年7月29日(土) 9:00~17:15

2. 会場

東北大学青葉山新キャンパス 災害科学国際研究所棟 1階多目的ホール (P.6 参照)

3. プログラム

8:30	開場
9:00-9:10	開会の挨拶(今村 文彦 所長)
9:10-11:50	[共同研究:午前の部]口頭発表(進行:寺田 賢二郎 教授)
11:50-12:20	[プロジェクトエリア]口頭発表(進行:村尾 修 教授)
12:20-13:10	昼食 ※会場隣の建物の食堂は営業、売店は休業しています。
13:10-14:00	[プロジェクトユニット]ポスターセッション・コアタイム(50分)
14:00-17:05	[共同研究:午後の部]口頭発表(進行:丸谷 浩明 教授)
17:05-17:15	閉会の挨拶(伊藤 潔 副所長)

# 口頭発表プログラム

## 【共同研究：午前の部】

(発表 15 分＋質疑応答 10 分、1 階多目的ホール)

※ ○は発表者を示す。

9:10-9:35 【津波工学】

津波統合モデル解析の高度化

○ 研究代表者：高橋 智幸（関西大学 社会安全学部）

所内共同研究者：山下 啓（地震津波リスク評価（東京海上日動）寄附研究部門）

9:35-10:00 【津波工学】

複数被験者が同時体験可能なオンライン津波避難シミュレータの開発

○ 研究代表者：浅井 光輝（九州大学 大学院工学研究院）

所内共同研究者：寺田 賢二郎（地域・都市再生研究部門 地域安全工学研究分野）

10:00-10:25 【災害医学・医療】

東日本大震災後の住環境の変化によるアレルギー疾患の発症・増悪に関する疫学調査と真菌・ダニアレルゲンに対する環境整備介入方法の確立

○ 研究代表者：釣木澤 尚実（国立病院機構埼玉病院 呼吸器内科）

所内共同研究者：栗山 進一（災害医学研究部門 災害公衆衛生学分野）

10:25-10:35

(休憩 10 分)

10:35-11:00 【災害医学・医療】

被災時の医療・保険・福祉支援体制の検討：副都心新宿の指定避難所運営管理協議会との連携で進める災害対策づくり

○ 研究代表者：坪内 暁子（順天堂大学 医学研究科）

所内共同研究者：佐藤 健（情報管理・社会連携部門 災害復興実践学分野）

11:00-11:25 【災害アーカイブ】

水損紙製資料の劣化抑制に関する研究

○ 研究代表者：松下 正和（姫路大学 教育学部）

所内共同研究者：天野 真志（人間・社会対応研究部門 歴史資料保存研究分野）

11:25-11:50 【災害アーカイブ】

アナログ方式とデジタル方式が連携した災害エスノグラフィアーカイブ構築

○ 研究代表者：田中 聡（常葉大学 大学院環境防災研究科）

所内共同研究者：佐藤 翔輔（情報管理・社会連携部門 災害アーカイブ研究分野）

【プロジェクトエリア報告】  
(発表5分、1階多目的ホール)

- 11:50-11:55 【場】災害の発生メカニズム解明・予測  
エリア長 木戸 元之
- 11:55-12:00 【情報】自然災害アーカイブシステムの構築・運用  
エリア長 佐藤 健
- 12:00-12:05 【組織】被災地支援・受援を効率化する組織と技術  
エリア長 越村 俊一
- 12:05-12:10 【もの】構造制御技術と多重防御技術による地域・都市レジリエンスの向上  
エリア長 寺田 賢二郎
- 12:10-12:15 【健康】広域・複合災害・マルチハザード対応型災害医学・医療の確立  
エリア長 富田 博秋
- 12:15-12:20 【総合減災】総合的減災システムのデザインと社会実装  
エリア長 丸谷 浩明
- 12:20-13:10 (昼食 50分)
- 13:10-14:00 (ポスターコアタイム 50分)

【共同研究：午後の部】  
(発表15分+質疑応答10分、1階多目的ホール)

※ ○は発表者を示す。

- 14:00-14:25 【災害アーカイブ】  
岩手県沿岸部における災害史料の整理・アーカイブと災害研究  
研究代表者：奥村弘（神戸大学 大学院人文学研究科）  
○ 川内 淳史（神戸大学 大学院人文学研究科）  
所内共同研究者：蝦名 裕一（人間・社会対応研究部門 災害文化研究分野）
- 14:25-14:50 【災害アーカイブ】  
熊本地震の震災アーカイブ構築に関する研究  
○ 研究代表者：山尾 敏孝（熊本大学 大学院先端科学研究部）  
所内共同研究者：柴山 明寛（情報管理・社会連携部門 災害アーカイブ研究分野）
- 14:50-15:15 【防災人材育成・地域再創生学】  
地域再創生学に資する多次元統合可視化システムを用いた教育用コンテンツの開発  
研究代表者：目黒 公郎（東京大学 生産技術研究所）  
○ 所内共同研究者：村尾 修（地域・都市再生研究部門 国際防災戦略研究分野）

15:15-15:25 (休憩 10分)

15:25-15:50 【防災人材育成・地域再創生学】

東日本大震災発生後の福島県における防災教育の分析と展望—県教育委員会等による教員研修、副読本作成の意義と課題を中心に—

研究代表者：藤岡 達也（滋賀大学 教育学部）

○ 所内共同研究者：佐藤 健（情報管理・社会連携部門 災害復興実践学分野）

15:50-16:15 【災害科学の発展に寄与するその他の研究】

豪雨災害に関する災害情報および発災前後の対応と実被害との関係分析

研究代表者：呉 修一（富山県立大学 工学部）

○ 所内共同研究者：森口 周二（地域・都市再生研究部門 地域安全工学研究分野）

16:15-16:40 【災害科学の発展に寄与するその他の研究】

熊本地震と東日本大震災の比較分析による直下型地震時の病院被害と診療体制に関する研究

○ 研究代表者：前田 ひとみ（熊本大学 生命科学研究部）

所内共同研究者：児玉 栄一（災害医学研究部門 災害感染症学分野）

16:40-17:05 【災害科学の発展に寄与するその他の研究】

常時微動観測による山形盆地の地盤振動特性評価の試み

○ 研究代表者：三辻 和弥（山形大学 地域教育文化学部）

所内共同研究者：大野 晋（災害リスク研究部門 地域地震災害研究分野）

# ポスター

## 【プロジェクトユニット報告】

(コアタイム：13:10～14:00 1階セミナー室)

※下記は平成28年度ユニットのメンバーを示しています。

※平成29年度から所属のメンバーは[ ]表記で示しています。

場-1 ハザード評価 (場-1A、場-1B)

主メンバー：木戸・遠田・福島・岡田・川田・丹羽・本荘・[今野]

場-2 被害予測と軽減 (場-2A)

主メンバー：今村・後藤・サッパシー・佐藤(翔)・リーラワット・保田

情報-1 アーカイブ (情報-1A、情報-1B)

主メンバー：川島・蝦名・佐藤(大)・柴山・天野・池田・ボレー

情報-2 災害統計 (情報-2A)

主メンバー：小野・イ

情報-3 防災教育・人材養成 (情報-3A、情報-3B)

主メンバー：佐藤(健)・杉浦・邑本・桜井・[定池]

組織-1 減災・復興支援技術 (組織-1A)

主メンバー：奥村・ダス

組織-2 災害空間情報解析 (組織-2A、組織-2B、組織-2C)

主メンバー：越村・有働・マス

もの-1 人的・物的被害軽減 (もの-1A、もの-1B)

主メンバー：五十子・源栄・大野・王

もの-2 レジリエント社会基盤 (もの-2A、もの-2B)

主メンバー：寺田・森口・永野

健康 災害と健康 (健康-A、健康-B、健康-C)

主メンバー：富田・伊藤・江川・栗山・児玉・千田・  
三木・稲葉・笠原・佐々木・ホルロ・兪・[飯田]

総合減災-1 減災・復興デザイン (総合減災-1A、総合減災-1B)

主メンバー：村尾・岩田・井内・平野・マリ・小林

総合減災-2 減災社会実装 (総合減災-2A、総合減災-2B)

主メンバー：丸谷・寅屋敷

## 会場案内

東北大学青葉山新キャンパス 災害科学国際研究所棟

〒980-0845 仙台市青葉区荒巻字青葉 468-1

※ 駐車場はございませんので、公共交通機関でお越しください。

TEL : 022-752-2011 FAX : 022-752-2013

Eメール : [forum@irides.tohoku.ac.jp](mailto:forum@irides.tohoku.ac.jp)

### 【市営地下鉄】

仙台駅から

仙台市営地下鉄東西線 八木山動物公園行き 「青葉山駅」下車

南1出口から徒歩約3分

### 【タクシー】

仙台駅からの所要時間：約20分

料金：約1,600円

※大まかな目安です。道路の混雑の状況などによって異なります。

### 青葉山新キャンパスへのアクセス地図

